

# 2023年5月期 アナリスト向け決算説明会

(2022年6月～2023年5月実績)

株式会社パシフィックネット  
(証券コード：3021)

2023年7月28日

## 目 次

- ・ 当社事業の説明と成長戦略
- ・ 2023年5月期決算の状況
- ・ 2024年5月期業績予想
- ・ SDGs への取り組み
- ・ 配当について

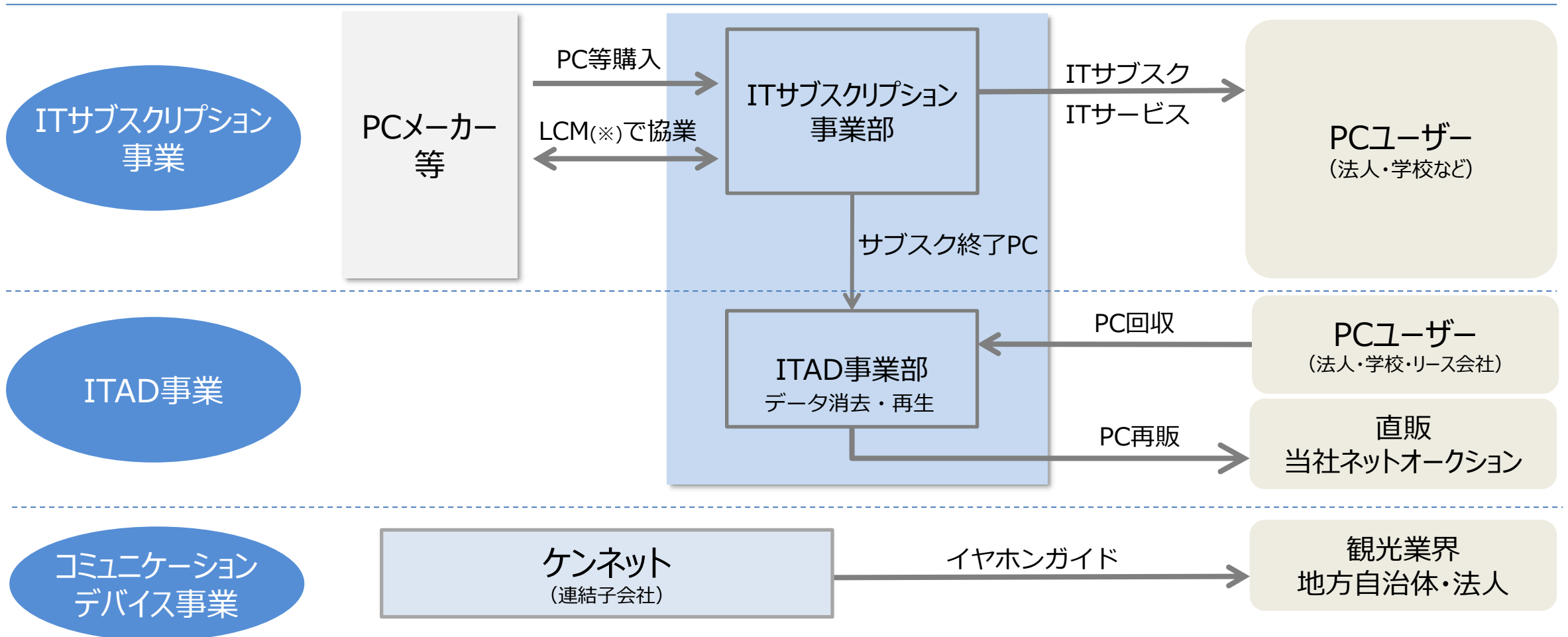
## 当社事業の説明と成長戦略

---



# 当社事業の全体像

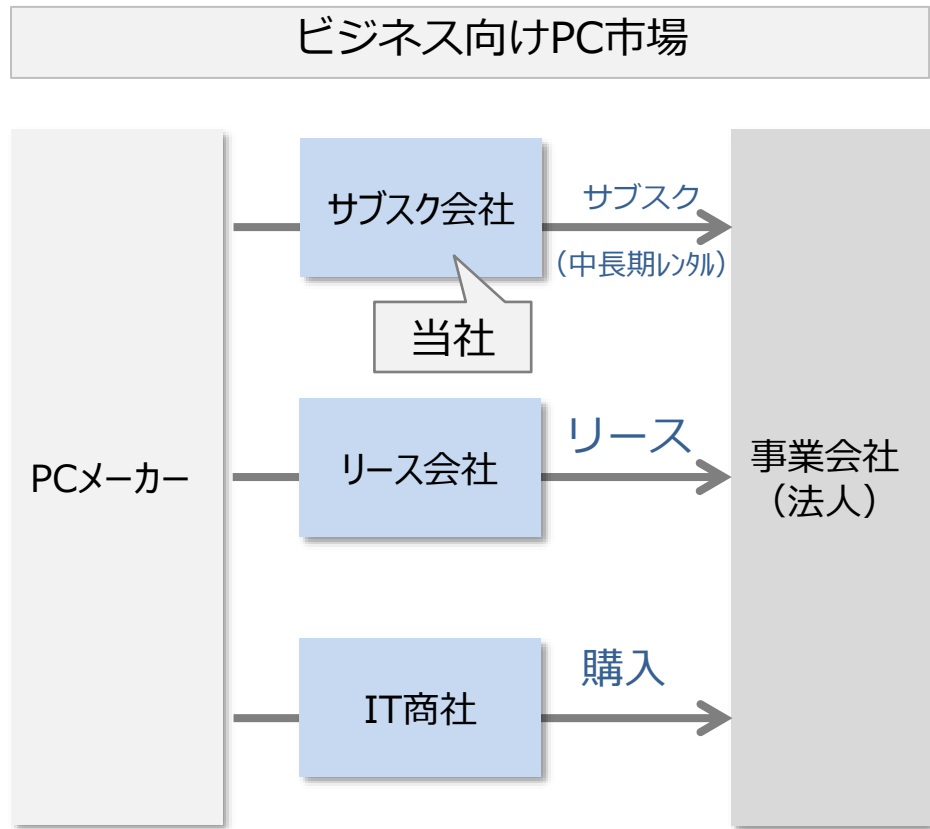
- 3つの事業で構成
- ①ITサブスクリプション事業（IT機器サブスクリプション、ITサービス）
  - ②ITAD事業（使用済みPCの回収・データ消去・再販）
  - ③コミュニケーション・デバイス事業（イヤホンガイドの販売等）



(※) LCM : ライフサイクルマネジメント PC・サーバー等IT機器の導入・運用管理・使用後の適正処理を管理する仕組み

# ITサブスクリプション事業の特徴

- ビジネス向けPCの調達方法 = サブスク (中長期レンタル) ・ リース ・ 購入
- サブスクは、業務負担軽減 ・ オフバランス ・ 費用平準化など **メリット大**



ユーザーにとっての違い

	サブスク(中長期以外)	リース	購入
価格 (長期利用)	リースより割高 (ただし、保守サービスを含む)	レンタルより割安	最安
PC管理 故障対応など	当社が対応	ユーザー負担 (情報システム部門の業務負荷が増加)	
中途解約	可能 (月単位で可能、短期利用もOK)	不可 (違約金発生)	不可
経理処理	オフバランス (費用も平準化)	資産計上 (費用は平準化)	資産計上 (減価償却の経費処理が必要)

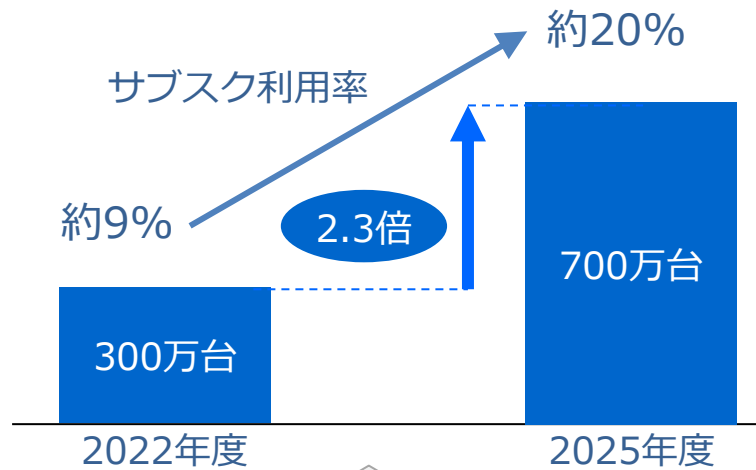
事業会社のPC調達には、サブスク・リース・購入の選択肢あり



IT機器サブスク (中長期レンタル) はメリットが大きく利用が拡大

# ITサブスクリプション事業は成長市場

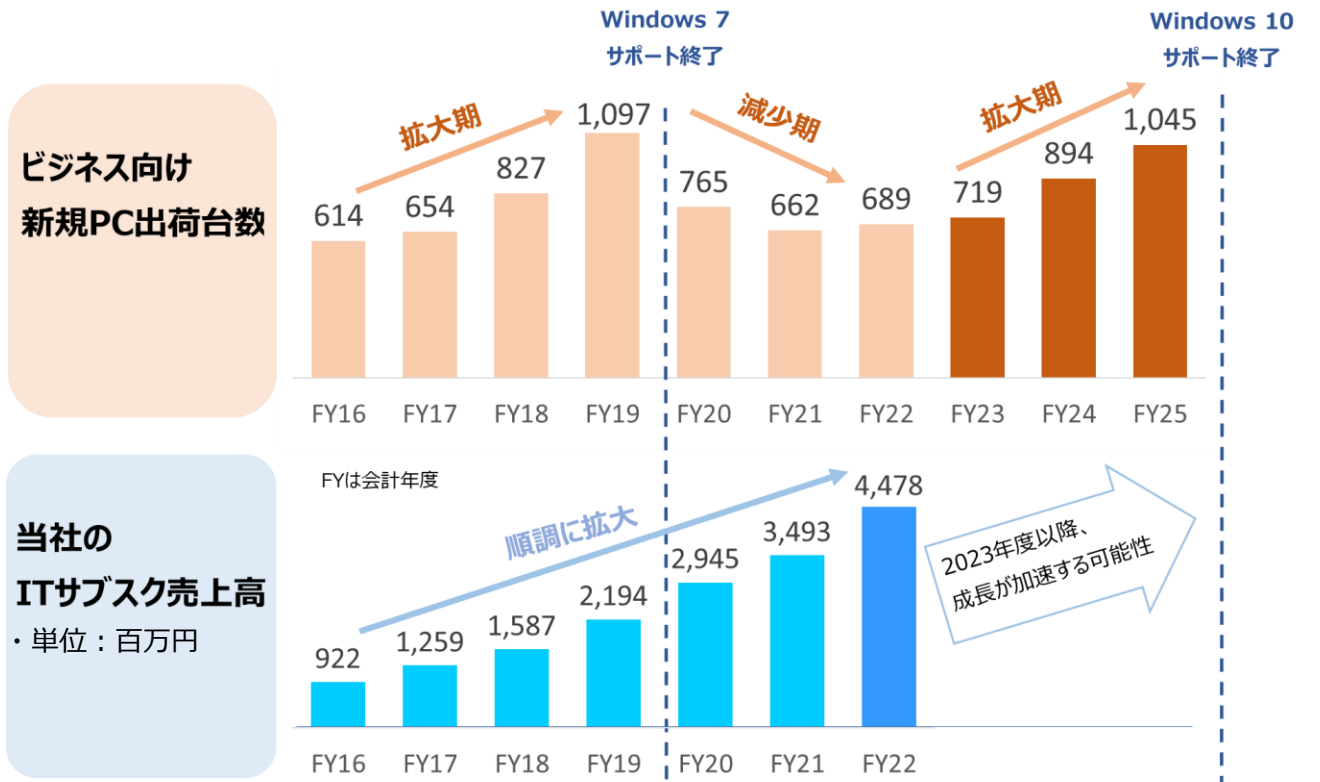
ビジネス利用PCに占めるサブスク台数の予想



## 拡大を予想する理由

- 1 ITサブスクの認知が向上、商談が増加
- 2 IT人材不足、業務負担軽減ニーズの高まり
- 3 23年からPC更新拡大、サブスクシフト加速

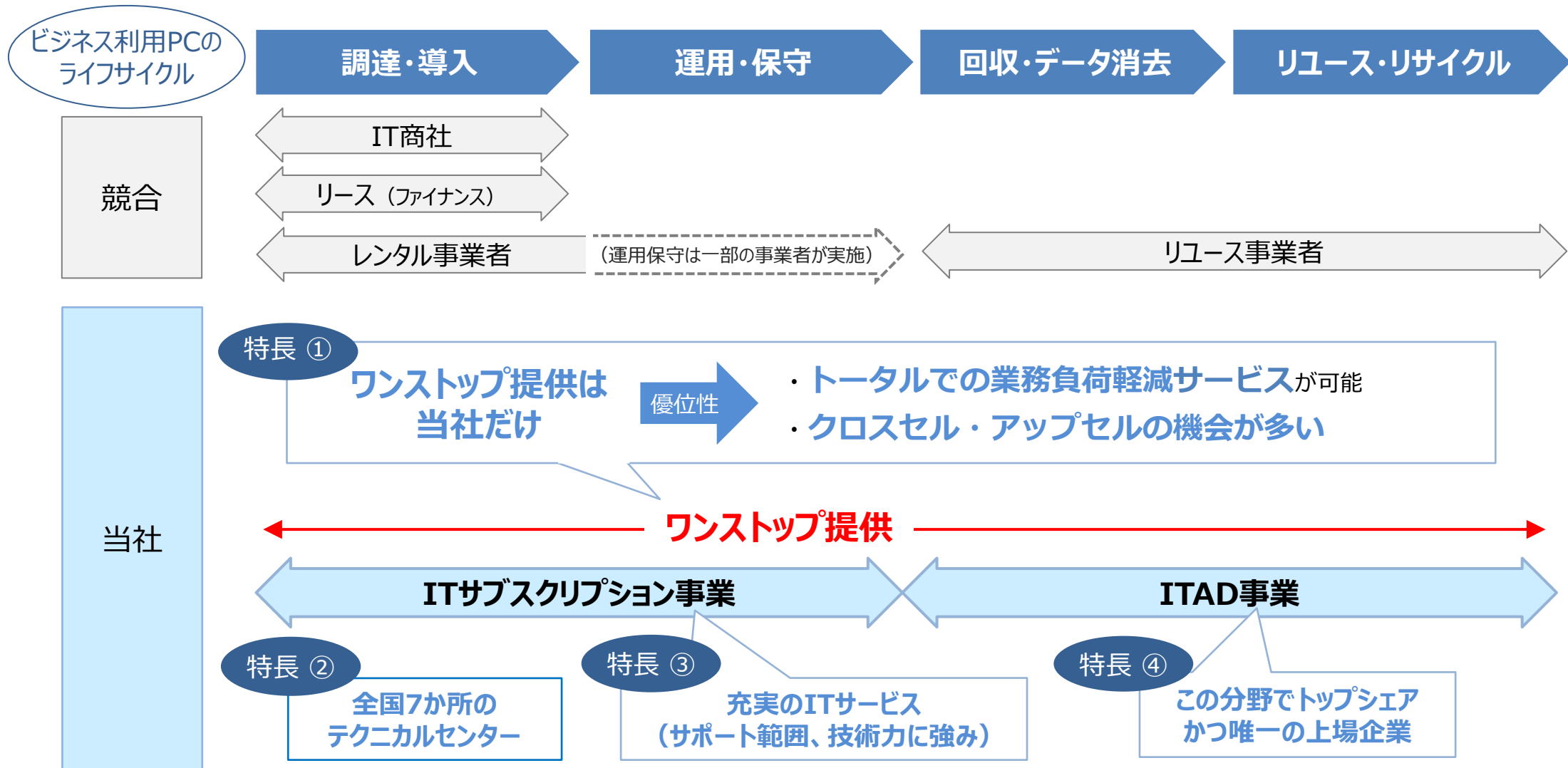
ビジネス向け・新規PC出荷台数の予測



- ・20～22年の新規PC減少期でも、ITサブスクは順調に拡大
- ・23年後半からのPC更新拡大期には、成長が加速する可能性

# 当社の競争環境と強みについて

- 高い参入障壁：サブスク資産・拠点開設など費用先行（かつ売上は分割計上）、スケールメリットが効きやすい
- 当社の優位性：企業のPC関連業務をワンストップで支援できる、全国7か所のテクニカルセンターを有する

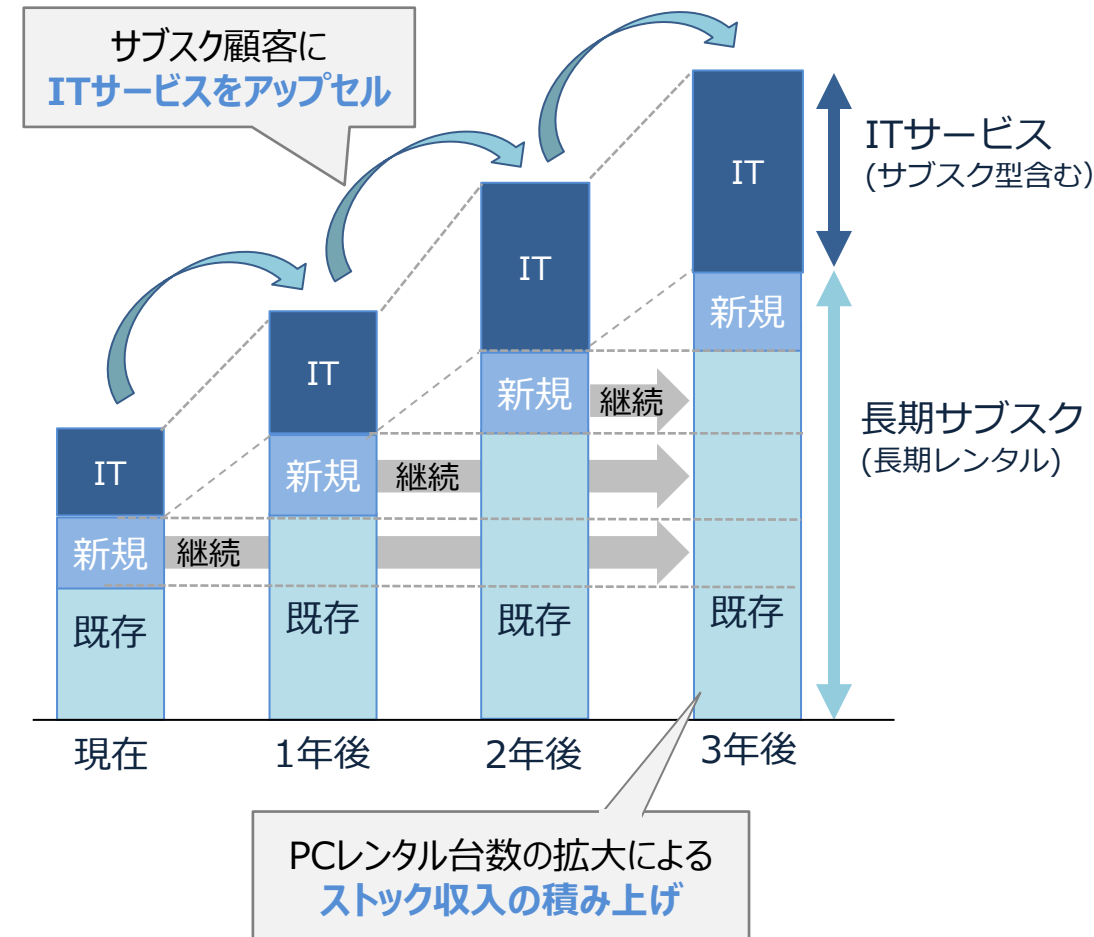


# 成長戦略①

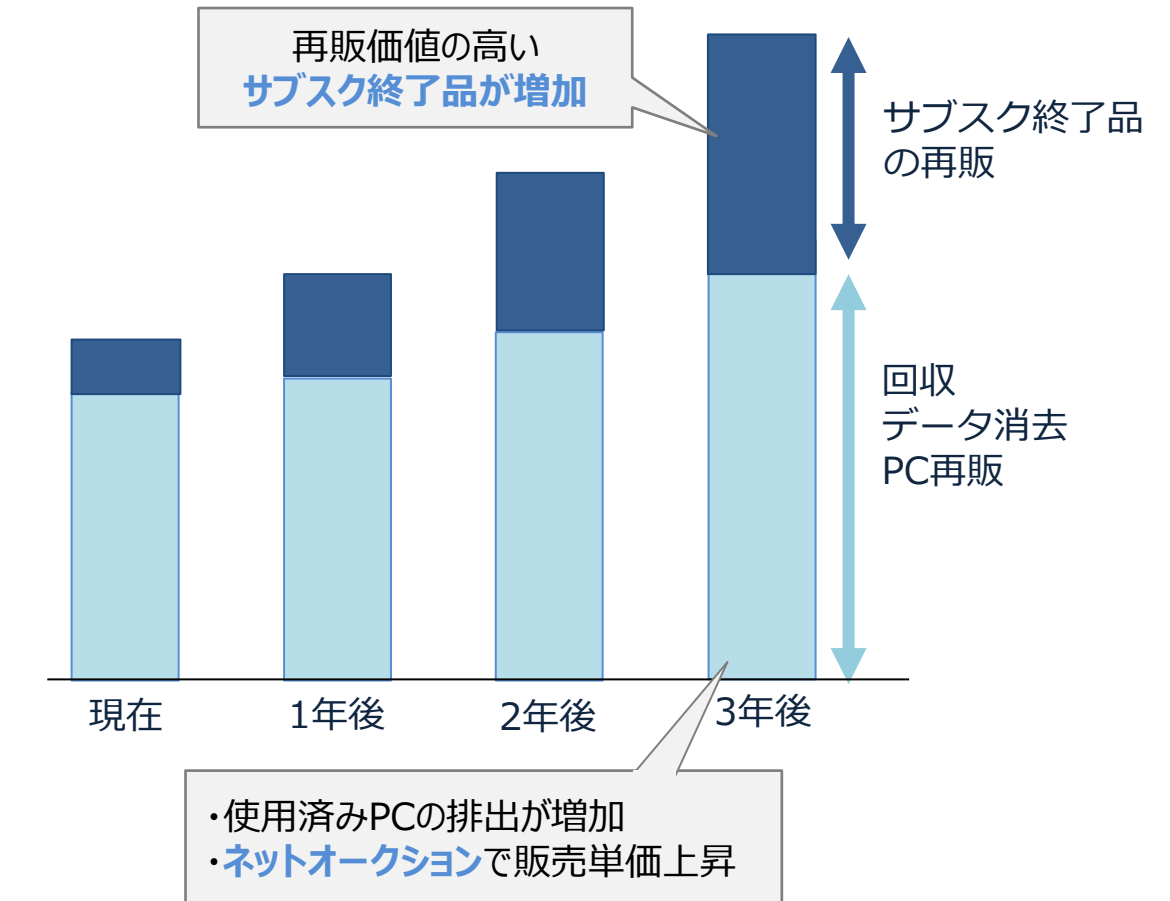
□ ITサブスク事業：サブスク台数増で**ストック積み上げ**、**ITサービスのアップセル**で規模拡大

□ ITAD事業：回収PCの台数増、ネットオークション、**再販価値の高いサブスク終了品増**で成長

ITサブスクリプション事業の成長戦略



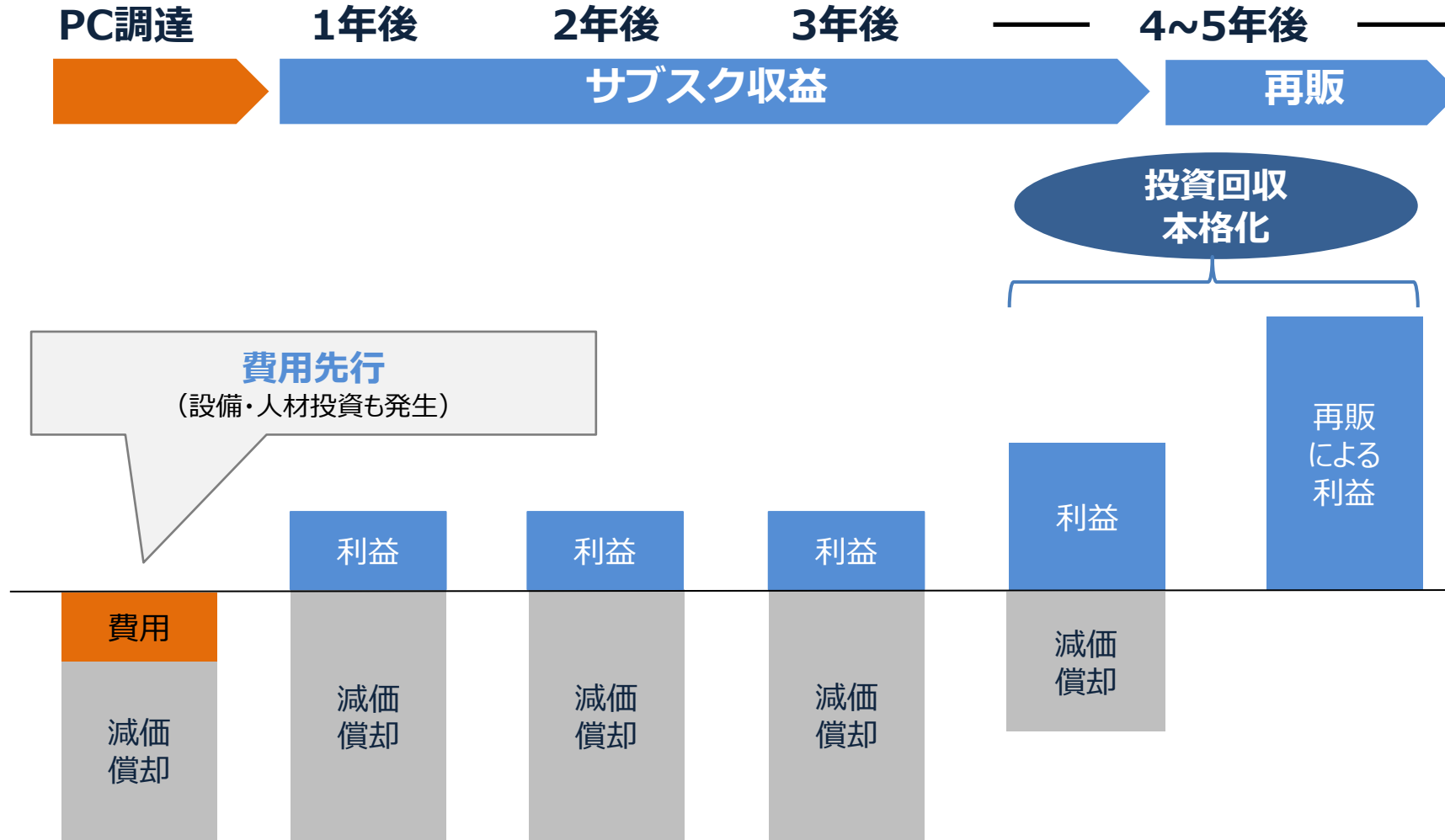
ITAD事業の成長戦略





## 成長戦略②

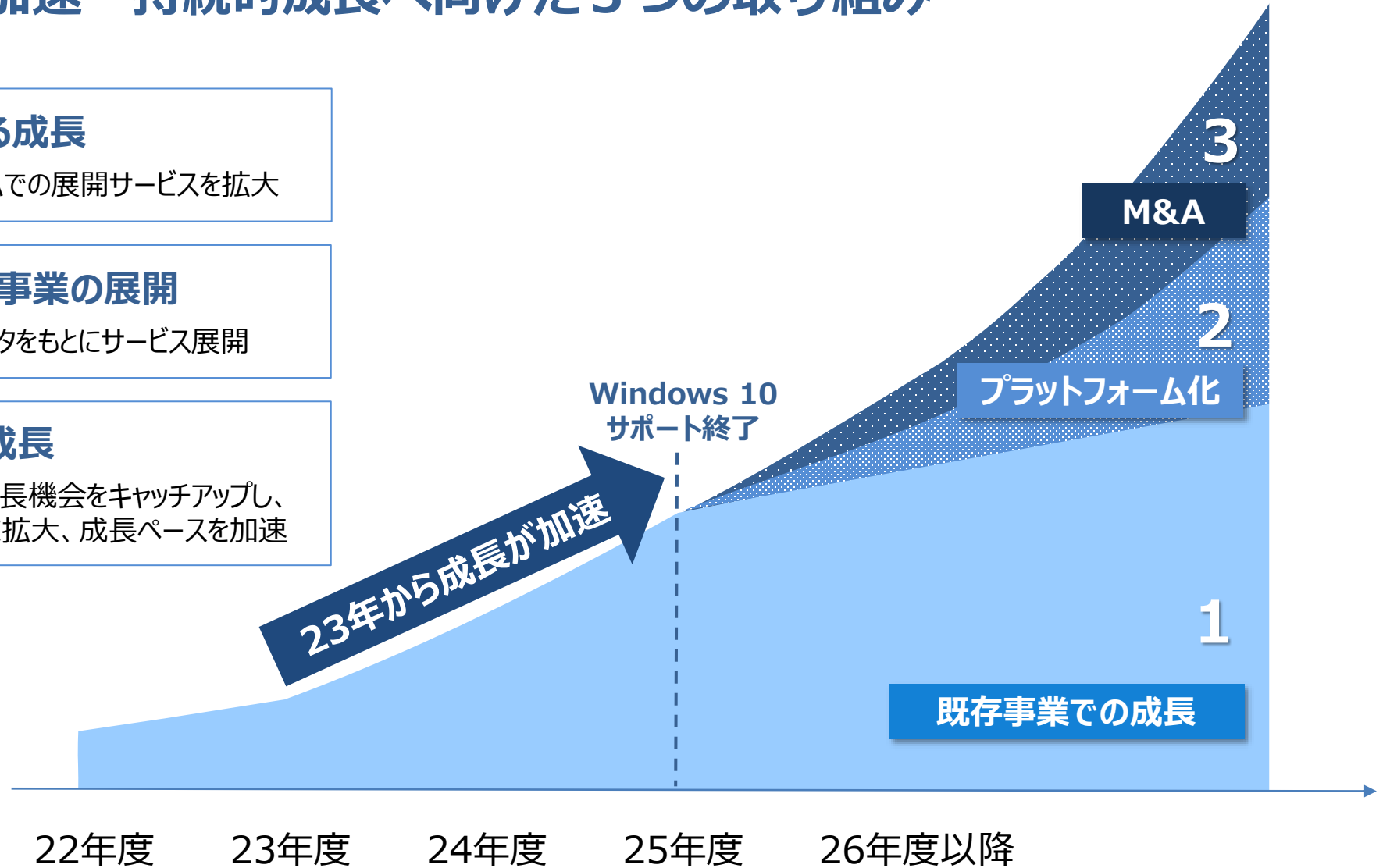
- 事業拡大時に費用先行、PC資産償却後に投資回収が本格化するビジネスモデル
- サブスクの規模が拡大して約4年後から本格的な投資回収フェーズに入る



## 成長戦略③

### 成長スピードの加速・持続的成長へ向けた3つの取り組み

- 3 M&Aでさらなる成長**
  - ・LCMプラットフォームでの展開サービスを拡大
- 2 プラットフォーム事業の展開**
  - ・培ったノウハウ・データをもとにサービス展開
- 1 既存事業での成長**
  - ・Win 10 終了の成長機会をキャッチアップし、顧客数を飛躍的に拡大、成長ペースを加速



## 2023年5月期 決算の状況

---



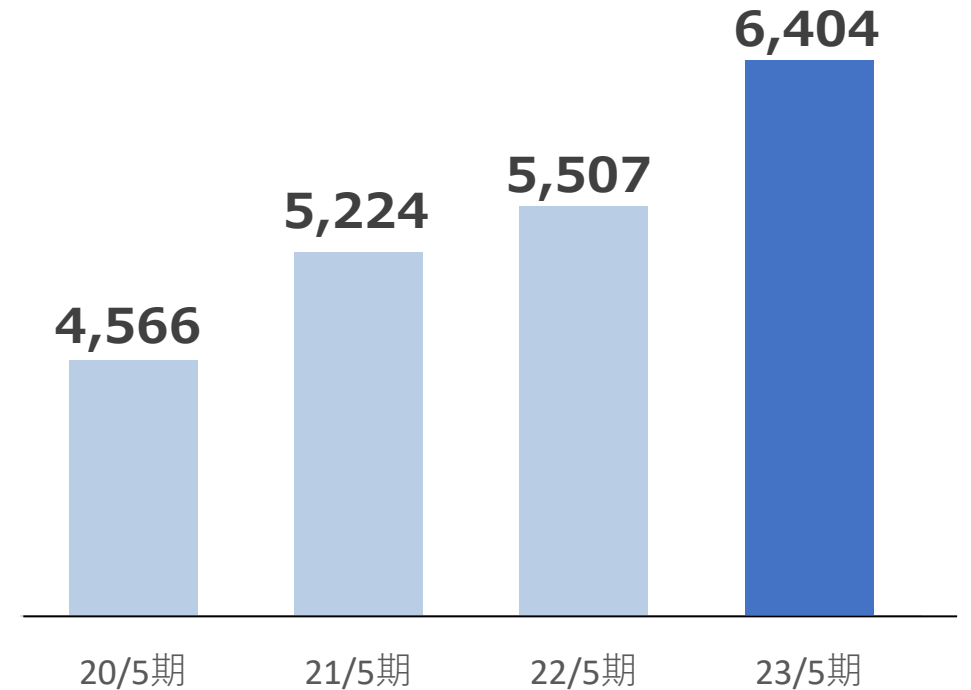
## 2023年5月期・連結業績（2022年6月～2023年5月）

- 通期業績：3期連続で売上高の過去最高を更新
- 四半期業績：当第4四半期は、売上高・各利益とも過去最高に
- ITサブスクは順調、コミュニケーション・デバイスは回復、ITADは回復に至らず
- 投資による増加コストは収益性向上でカバー

（単位：百万円）

	第4四半期		累計	
	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率
売上高	1,666	10.2%	6,404	16.3%
営業利益	210	165.7%	529	54.9%
経常利益	205	166.5%	518	55.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	140	156.7%	336	60.3%
EBITDA	712	24.1%	2,416	13.6%
ROE	2022年5月期 8.5%		2023年5月期 12.8%	

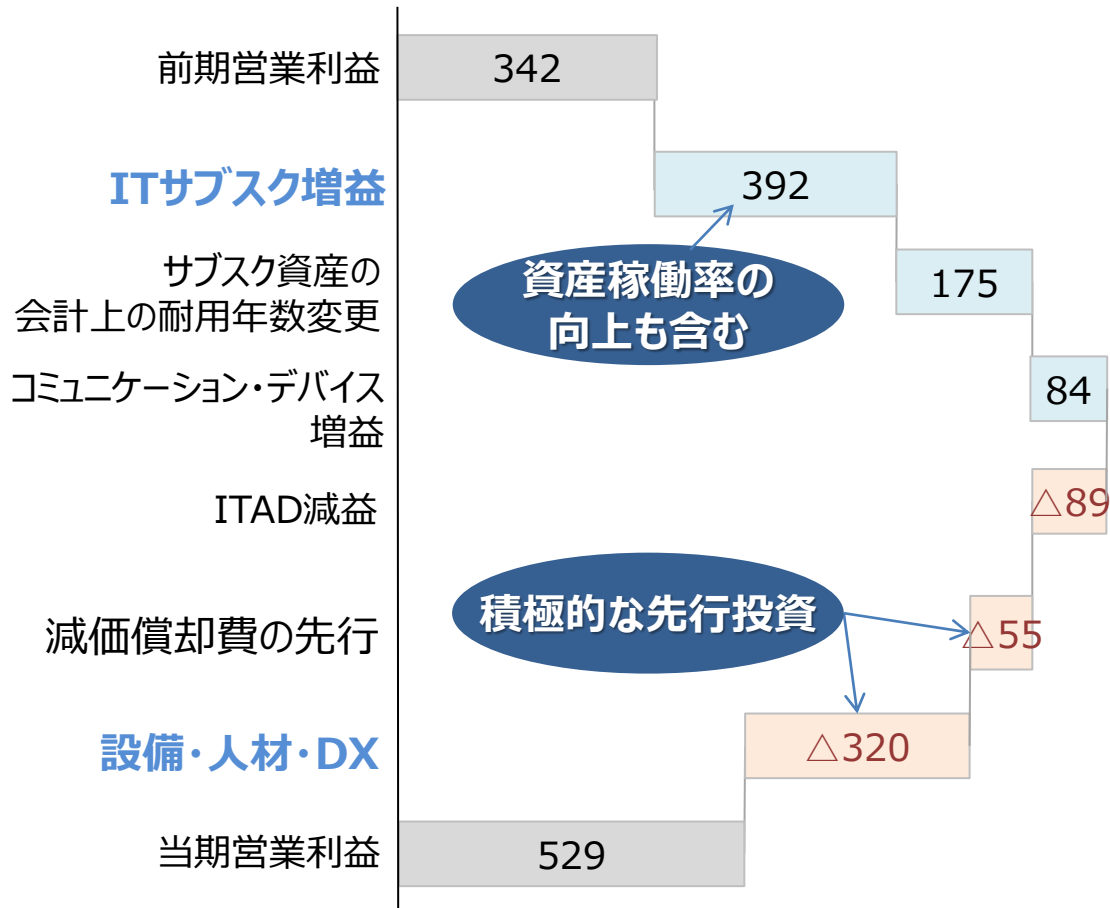
売上高・推移（百万円）



# 営業利益の増減要因

積極投資によるコスト増は、売上の成長と収益性向上でカバーし増益へ

営業利益の増減要因 (百万円)



## 【サブスク資産 (※)】

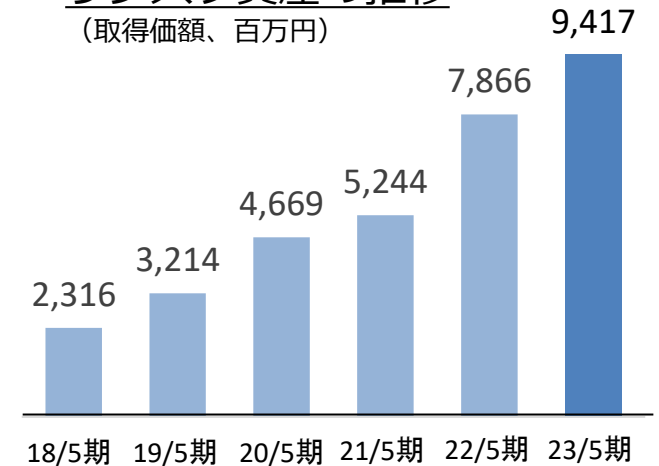
(※) 財務諸表ではレンタル資産

- ・ サブスク受注は好調
- ・ 資産の世代交代を実施

→ 資産稼働率が向上

## サブスク資産の推移

(取得価額、百万円)



## 【人材・デジタル化・設備等への投資】

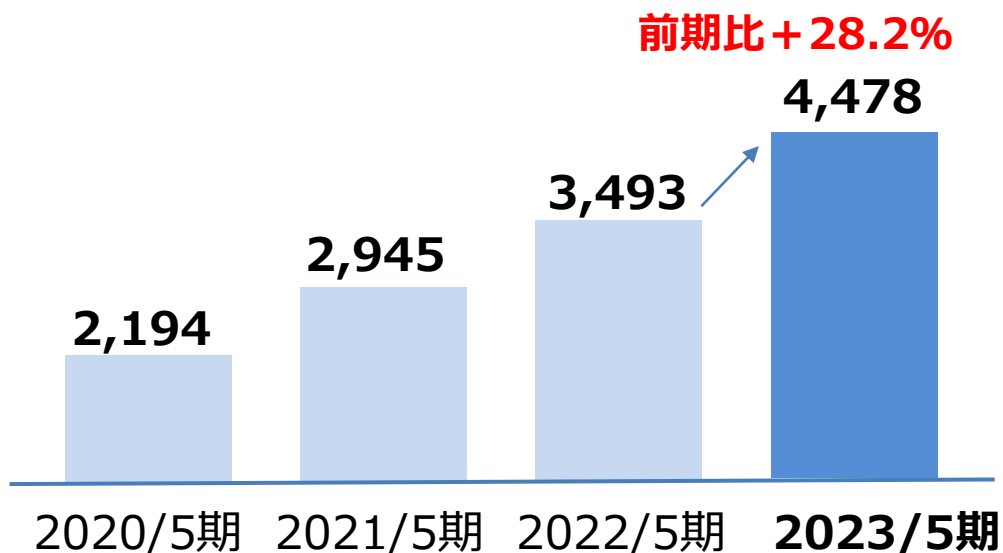
- ・ IT人材の積極採用
- ・ デジタル化投資
- ・ 大規模展示会に4度出展 (22年10月~23年5月)



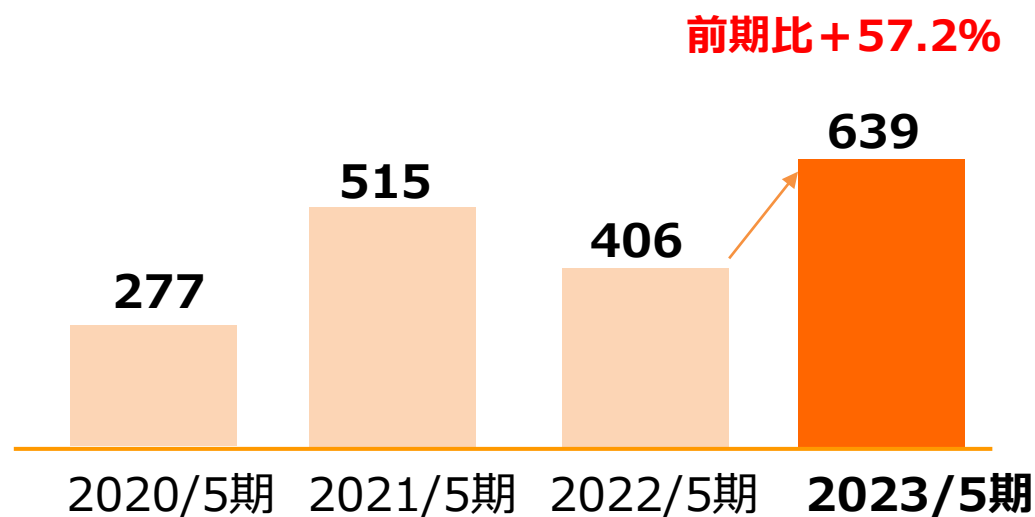
## 順調に拡大、収益性も向上

- サブスク売上高は順調に拡大、売上の先行指標となる受注も好調
- サブスク在庫の世代交代を行い、下期の資産稼働率・収益性は大幅に向上
- サブスク資産の会計上の耐用年数を変更し適正化
- 人材・デジタル化・設備へ継続投資、先行コスト増を収益性向上でカバー

売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）

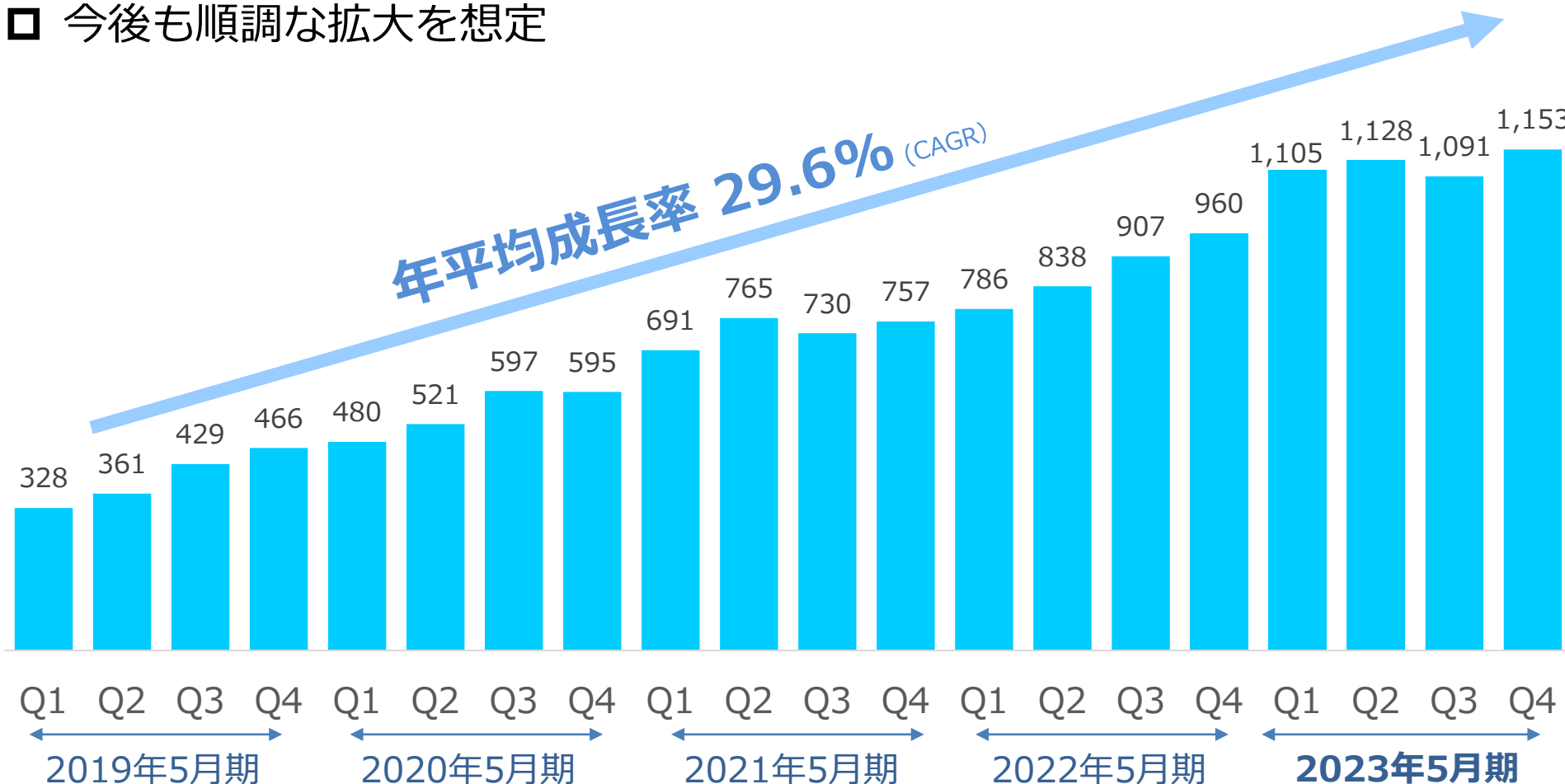


# ITサブスクリプション事業

法人向けIT機器サブスクリプション・運用保守・通信・クラウド等のITサービス

## ITサブスクリプション事業 四半期売上高・推移 (百万円)

- 国内PC出荷台数減少続く中でも、**順調に成長** (年平均成長率29.6%)
- 今後も順調な拡大を想定



注)  
23年5月期Q3が減少した理由は、Q1・Q2に資産売却で一時的な販売売上高の計上があったため。  
サブスクだけの売上高は一貫して増加

# ITAD事業

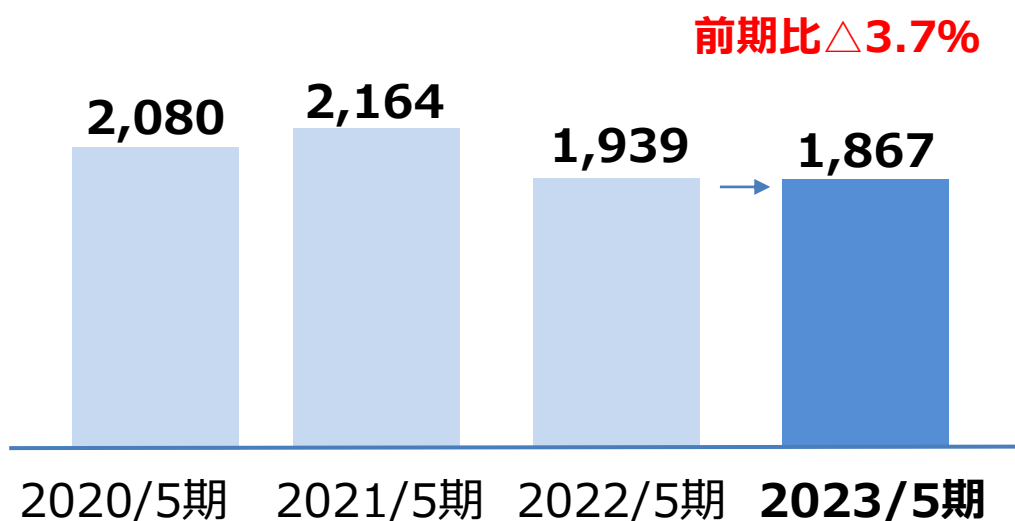
(ITAD : IT Asset Disposition、IT資産の適正処理)

使用済みIT機器のデータ消去・リユース・リサイクル、適正処理

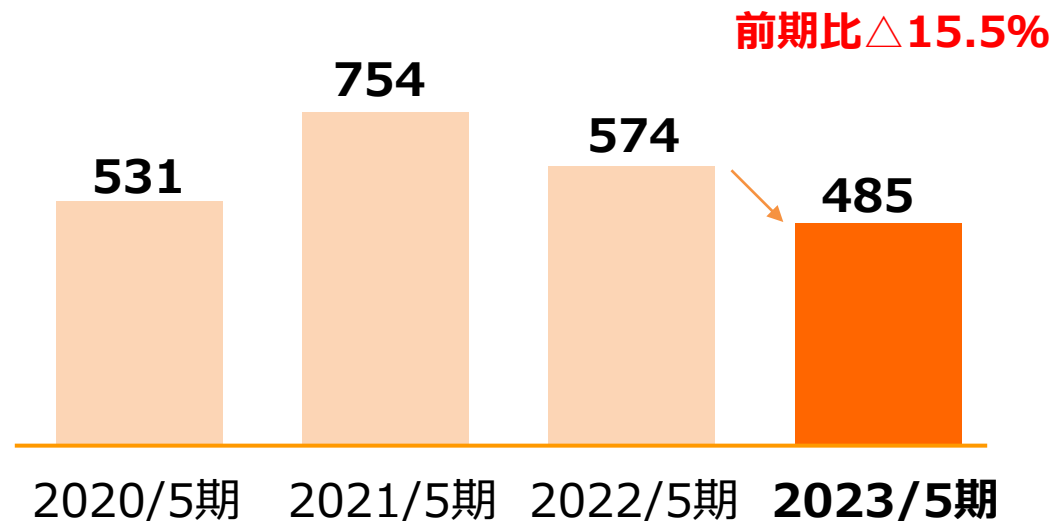
## 国内使用済みPC排出台数の減少、低スペック品単価下落で本格回復には至らず

- 新品PC出荷台数低迷により、排出PC台数も減少
- 高スペック品の販売は好調だが、大部分を占める低スペック品は依然として市場価格が下落
- 22年11月にリリースした「**排出管理BPOサービス**」はすでに複数の大企業から受注に成功

売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）

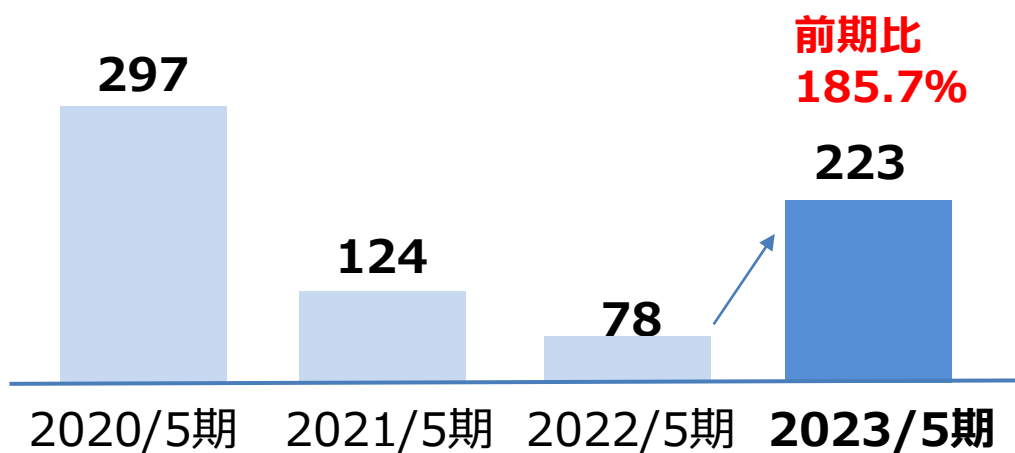




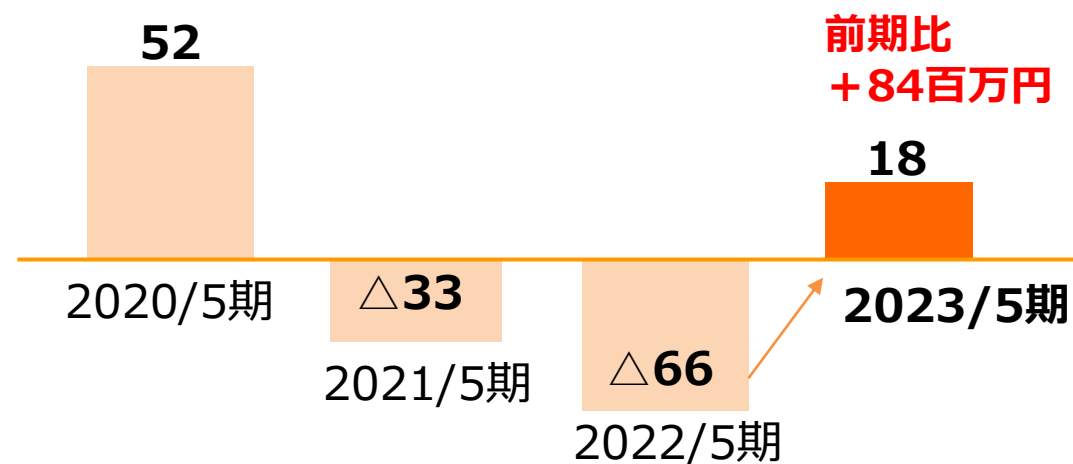
## 回復鮮明、国内旅行および旅行以外での法人利用も進む

- 第8波の感染拡大はあったが、観光業界の急速な改善で**業績は回復、通期でプラスに**。
- コロナ前は海外旅行用途がメインだったが、国内旅行および非旅行分野での法人利用が拡大
- 回復基調の海外旅行・インバウンド需要の他、教育旅行等の新たな需要への対応も進めている

売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



## 2024年5月期・業績予想

---



## 2024年5月期 連結業績予想

- 23年後半からPC更新拡大期、ITサブスクリプション事業はさらなる成長を想定
- コミュニケーション・デバイス事業も拡大を見込む
- ただし、ITAD事業の回復遅延の可能性から、現時点では保守的な業績予想といたします

(単位：百万円)

	2023年5月期 実績	2024年5月期 業績予想	増減率
売上高	<b>6,404</b>	<b>7,100</b>	10.9%
営業利益	<b>529</b>	<b>650</b>	22.7%
経常利益	<b>518</b>	<b>620</b>	19.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>336</b>	<b>395</b>	17.5%

## 2024年5月期 連結業績予想

### セグメント別概況

ITサブスクリプション事業	◎	好調持続、23年後半からPC更新拡大期へ
ITAD事業	△	回収・販売…回収台数の回復は24年以降へ遅延、 低スペック品の販売価格低迷の影響残る サービス …排出管理BPOサービスの範囲拡大で さらに受注拡大へ
コミュニケーション・デバイス事業	○	国内観光・インバウンド好調、海外回復基調、教育旅行等の 新たなニーズへ対応
戦略投資	積極実施	収益性向上で先行コストはほぼカバーする見込み

# 新人事制度・給与制度をスタート（2023年8月～）

## 制度を全面刷新、人的資本経営を強化

- ✓ 月例給約5.9%アップ（昇格を除き約4.8%アップ）、最大24%アップ
- ✓ 賞与基準額のアップ（約10%）、年収ベースでは約6.3%アップ

業績予想には、当制度改正は織り込み済みです。

### 制度改正の目的

①シンプル・わかりやすく	・ どう昇給・昇格できるかが、すぐわかる制度へ
②給与・賞与額アップ	・ 月例給・賞与支給額の見直しで、年収約6.3%アップ ・ 給与テーブルを見直し、昇給しやすい体系へ
③多様なキャリアパスに対応	・ マネジメントコース、プロフェッショナルコース共に整備 ・ 資格取得支援制度を整備
④活躍に応える	・ 学歴・年齢・勤続年数は一切関係なし より公正な評価を強く推進

## SDGs への取り組み

---



## SDGs への取り組み①

私たちは「寄り添う」 これまでも、現在も、これからも。

当社グループの事業内容はSDGsの推進に直結

社会的使命と位置づけ、これからもSDGsに寄り添い続けます。

### PCNET Action for SDGs



「寄り添う」を合言葉に、サステナブルな未来の実現に貢献します

#### ITで寄り添う



- ・ DX支援
- ・ 情報セキュリティ支援
- ・ 地域社会への貢献

#### 環境と寄り添う



- ・ シェアリングエコノミー  
& サーキュラーエコノミーの実現
- ・ リユースの促進
- ・ 国内リサイクルの促進

#### ひとに寄り添う



- ・ 次世代のIT人材への支援
- ・ 健康な暮らしを提供
- ・ 災害復旧の支援

# SDGs への取り組み②

## 循環型社会・CO2削減の推進

- 当社事業はシェアリングエコノミー・サーキュラーエコノミーの実現と一致
- 顧客企業のカーボンニュートラル・廃棄物削減の取り組み支援も開始

### 当社のCO2削減量

当社は、IT機器のリユース・リサイクルにより年間約7,800tのCO2削減を実現



### 「CO2削減効果レポート」提供

当社ITADサービス利用の企業様へ、  
CO2削減効果レポートを無償で提供 (2022年2月開始)

〇〇〇〇株式会社 御中 2022年1月25日  
報告書No. ●●-1

### CO2削減効果レポート

お客様より回収しました機器につきまして当社にてリユースPCとして再生、またマテリアルとして国内にてリサイクルされたことを報告いたします。

機器を再利用する事により新品製造時に排出されるCO2を削減するとともに、リサイクルについては当社基準で審査・定期監査を行っている契約事業者にてマテリアルとして再生、2次利用される事によりゼロエミッションを実現します。また、機器の中で記憶装置を持つものに関しましては、適正にデータ消去を行いました事も併せてご報告いたします。別紙データ消去証明書にてご確認ください。

回収年月日：2022/1/25

#### 機器明細及び処理・作業内容

No.	機器型番	製品区分	台数	処理方法	データ消去方法
1	HP Compaq nc6120	ノート	1	リサイクル	物理破壊
2	NEC PC-LL770ED1K	ノート	1	リサイクル	物理破壊
3	thinkpad 7650-5UJ	ノート	1	リユース販売	上書き消去
4	DELL PP17L	ノート	1	リユース販売	上書き消去
5	FUJITSU FMV6400TX2	デスクトップ	1	リサイクル	物理破壊
6	DELL DCNE	デスクトップ	3	リユース販売	上書き消去



## SDGs への取り組み③

### プラスチック大幅削減（レジ袋換算で年24万枚分）

- 緩衝材を環境負荷の低い再生紙に変更、最適パッケージ化に成功
- 段ボール容量も約20%縮小、輸送効率も向上（2023年5月～）

プラスチック梱包材



再生紙梱包材  
段ボール容量も20%縮小



## SDGs への取り組み④

- ChromeOS Flex 導入コンサルティング・運用支援サービス開始
- ChromeOS Flex 搭載リユースPCの販売も開始 (2023年1月～)

### ChromeOS Flex ( Google ) とは

- ✓ ChromeOS は、Windows、MacOS に続く第3のOS
- ✓ ChromeOS Flexは、リユースPC用のOS

### SDGs にも直結

- ✓ 旧世代PCへのインストールによる継続使用でCO2削減
- ✓ 最新ウイルス対応で高セキュリティ
- ✓ 動作が早く発熱・消費電力が少ない



### Windows 10サポート終了時のPC入れ替え 例

従来への入れ替え



旧世代PC



旧世代PC



新品

旧世代PCは廃棄  
まだ使えるのに  
もったいない…



### ChromeOS Flexなら



旧世代PC

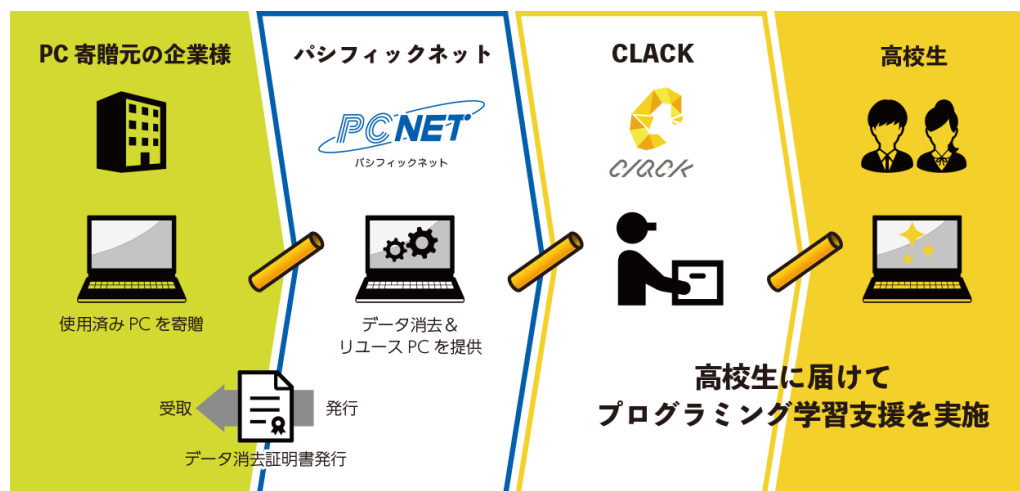
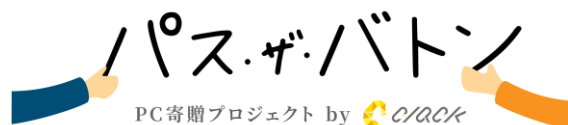


旧世代PC

継続利用可能！  
CO2削減・コスト削減！

## NPO法人CLACKとのパートナーシップ

- 経済的に困難を抱える高校生に向けた「PC 寄贈プロジェクト」を推進
- NPO法人CLACK 平井代表は「2021年度シチズン・オブ・ザ・イヤー」受賞
- PC寄贈プロジェクトの寄贈元は大企業が多数、**寄贈企業が増加中**



### ◆NPO法人CLACKの取り組み内容

- ・ 貧困家庭の高校生を対象に、無料のプログラミング講習等学習支援を実施
- ・ 使用するパソコンは無料提供、交通費も支給

### ◆パートナーシップの内容

- ・ PC寄贈プロジェクト「パス・ザ・バトン」推進を両社で強化
- ・ 使用済PC の引取、データ消去、データ消去証明書の発行、再生PC用正規OS インストール等の作業を当社で実施
- ・ PC 引取費用を当社で負担
- ・ 新たな取り組みとして、IT基礎知識のワークショップを共同開催  
就職支援の一助としてアルバイト募集

## 配当について

---



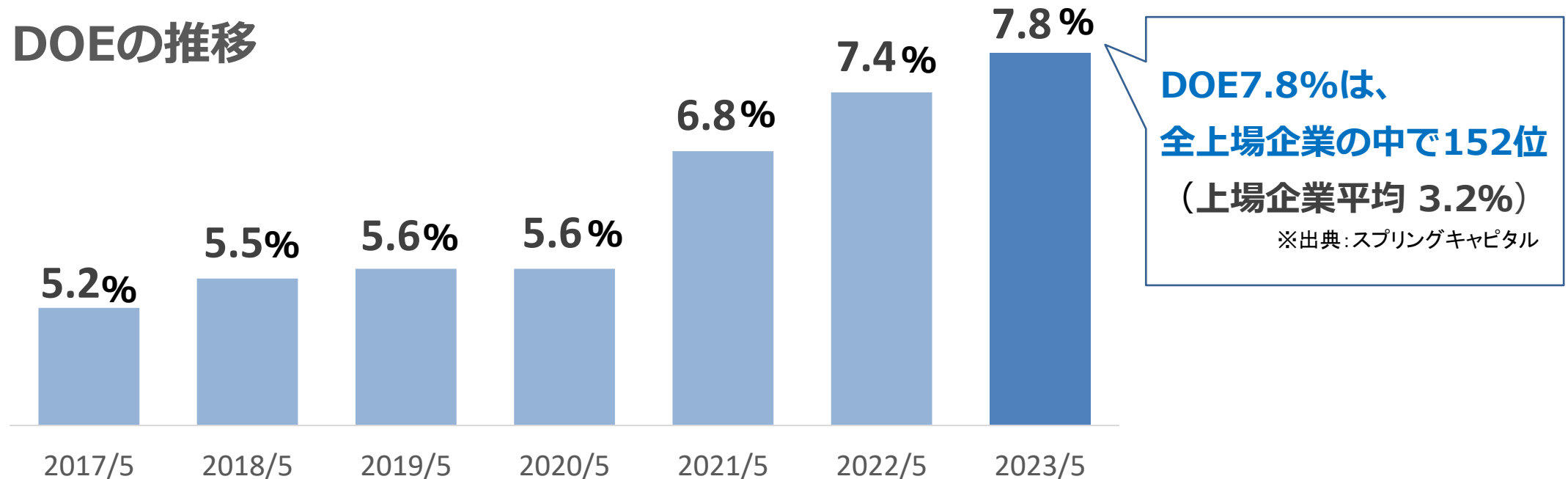
# 配当について

## 配当方針

配当性向30%以上、かつ DOE（純資産配当率）5%以上 を目標とする

DOE（純資産配当率）企業が株主資本に対してどの程度の配当を支払っているかを示す指標。真の配当性向とも呼ばれる。  
純資産配当率(DOE) = 配当性向×自己資本利益率(ROE)×100% = 年間配当総額／純資産×100%

## DOEの推移

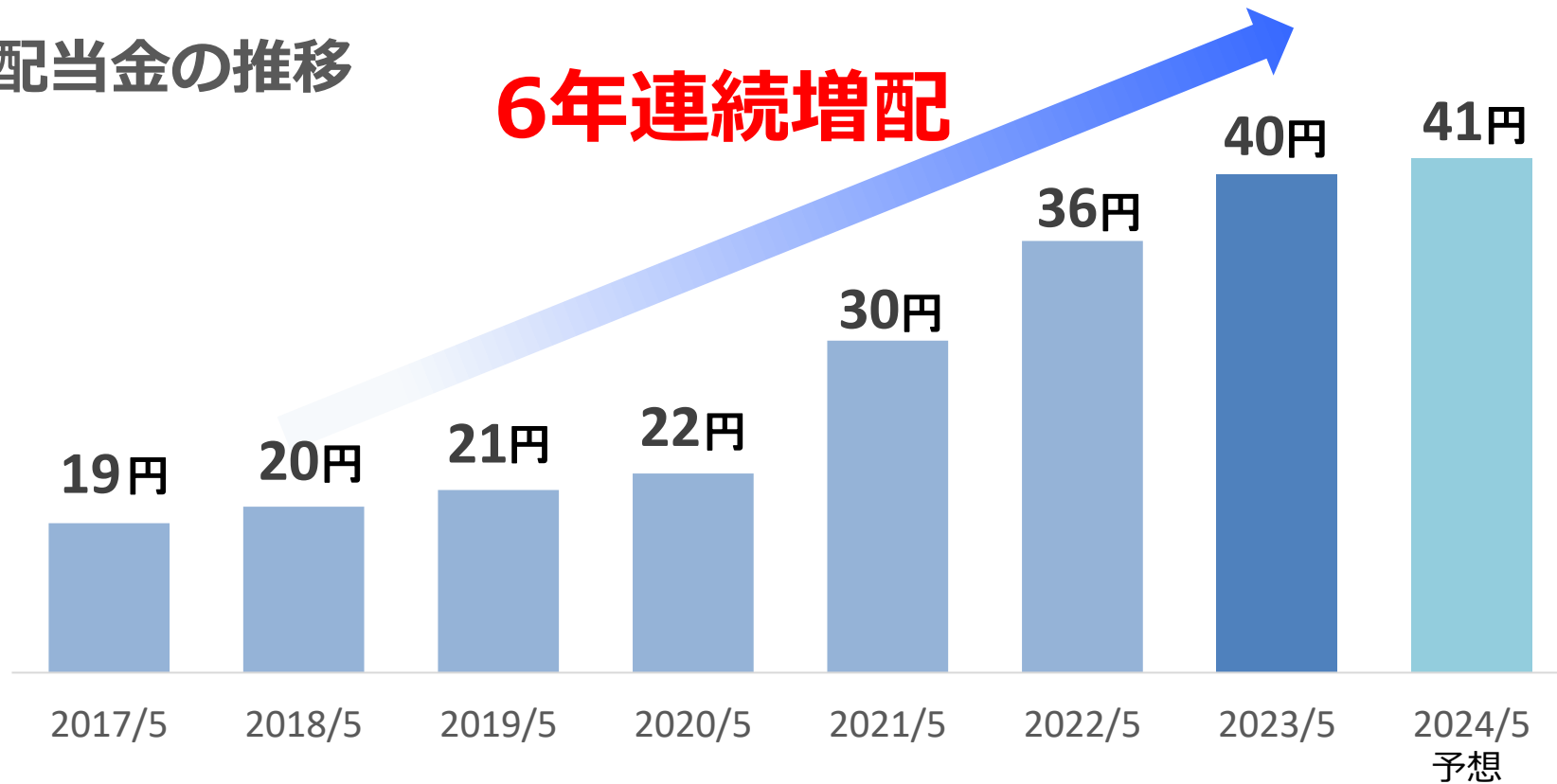


**DOE 7.8% = 株主様の投資資金を、約13年間の配当で還元可能**  
**( 1÷7.8% = 約12.8年 )**

## 配当について

当社経営方針は『長期的・持続的成長』であり  
株主様への利益還元も『安定的な拡大』を目標としております

### 配当金の推移



## 会社概要

- 設 立： 1988年 7月
- 本 社： 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル6階
- 代表者： 代表取締役社長 上田 満弘
- 事 業： ITサブスクリプション事業  
ITAD事業  
コミュニケーション・デバイス事業
  
- 売上高： 6,404百万円 (連結、2023年5月期)
- 従業員： 276人 (連結、パート社員54名含む、2023年7月1日現在)
- 市 場： 東証スタンダード (証券コード3021)

## IRに関するお問い合わせ

担当 取締役副社長 大江 正巳  
IR担当 川島、千賀、田村

お問い合わせ : [ir@prins.co.jp](mailto:ir@prins.co.jp)



### •将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。



ご清聴ありがとうございました